

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成23年1月10日・第7号通信
 責任者・堀 達夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8003 岐阜市大宮町1-17 ☎058-263-9540
 事務局長・河崎良史 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp
 通信編集・作成 事務局 馬場わかよ

長浜にてまちづくり視察研修

まちづくりの成功例として名高い長浜市の黒壁エリアに、まちの風景検討部会の企画で、11月7日(日)、紅葉間近な秋晴れのなかバスで会員44名が出かけてきました。「黒壁を起爆剤に民間の活動が功を奏し、古い町並みを上手に活用した元気なまちに再生を遂げました」と話す、NPO法人「長浜まちづくり役場」の前理事長・山崎さんの体験を交えた熱のこもった講演は、まちづくりを考える私たちにとても大変勉強になりました。

曳山博物館も見学して、山車を担当する金華地区の住民としても参考になりました。また、行程の中で井の口まちづくり会の会員相互の親睦も深めることができ、有意義な視察研修になりました。(松原和生)



参加者そろって記念撮影

長浜バス視察研修に参加して

今町一 鈴木美美子
 好天に恵まれて久しぶりのまち歩きを楽しみました。バスが着いてすぐに昔の開知学校に案内され、「長浜まちづくり役場」前理事長によるまちづくり会ができたいきさつなどの熱の入ったお話しに思わず引き込まれました。その後、まちに出て「曳山博物館」を見学し、偶然開催していた子供歌舞伎を見ました。古い伝統を持つこのまちの底力と、大勢の市民のたゆまない努力によってまちづくりが延び続けてきたということに心打たれました。

それに比べて井の口まちづくり会はこれからはどうですか。でも、私たちは金華山と長良川という素晴らしい景観を持っています。この山と川の風景こそが世代を越えたいかけがえない財産だと思います。

視察研修アンケート報告

■回答者 42名
 ・開催時期 良い40名 別の季節0名 無回答2名
 ・集合時間 適当39名 早い2名 遅い0名
 ・解散時間 適当38名 早い2名 遅い1名
 ・移動時間 適当39名 短い1名 長い2名
 ・研修地 適当28名 期待以上14名 期待はずれ0名
 ・地元交流 良かった35名 工夫が必要4名 不十分1名
 ・食事内容 適当27名 旨い13名 口に合わなかった1名
 その他として、他地域の事例を見ることにより井の口地区を見直すきっかけになった(32名)、まちづくり活動に興味を持つことができた(14名)、他地域のまちづくり会と交流ができ、今後の活動の参考になった(13名)、井の口まちづくり会のコミュニティづくりになった(13名)などのほか、今後も研修会や勉強会に参加したいが23名あり、その後の役員会で来年も継続することが了承されました。



開知学校にて



長浜のまちを移動する参加者

戦国時代の豊臣秀吉が、戦功によって琵琶湖東畔の寒村だった長浜の領主となり、城を築城してからは常に住民とともに財を求め、蚕を飼ひ繭から絹糸を取り織物にする一連の産業を育て、後に地の利を活かして京呉服の代表的な生地「浜ちりめん」の産地へと発展していった長浜です。

このまちには商工業の発展により富を得て、地域の歴史に残る幾多の華麗なる文化を育てつつ、また「近江商人」と呼ばれた人たちが、その財をもって帰り、戦中戦後の絹織物の衰退を憂い、自らの財を投資し、住民と一体になって知恵を出し合い、再び活力あるまちづくりに奔走したという。

多くの人が訪れる商人のまちとして「菜市菜座」の方策を取り入れたまちづくりに、井の口も先人の築き来た歴史を鑑みたまちづくりにより、人々が来訪してくれる活力あるまちになればと思います。

みんなの知恵で「道路づくり」を

安全なまちづくりの第一歩は、道路の整備にあります。井の口地区では、戦国の大道に続いて現在、高富街道(大宮町~松ヶ枝町~梶川町)の拡幅整備工事が進められています。将来を見据え、かつまた移転を余儀なくされた方々のためにも、行政と地区住民が一体となって立派な道路づくりが進められるよう道路拡幅計画の勉強会を予定しています。皆さまの知恵とアイデアで、道路づくりに参加していきましょう。

ご意見お待ちしています

まちづくり会や部会イベント、また皆さまのお手元にお届けしている「通信」などに対してのご意見、ご要望、あるいは活動へのご協力やご提案などがございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

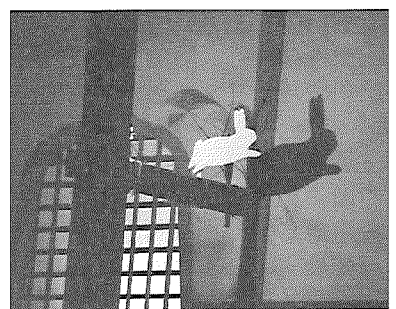
井の口まちづくり会会長 堀 達夫

9月20日(祝)~23日(祝) まちなかお月見アートを開催しました

仲秋の名月をめぐる4日間

スタンプラリーに98名が集う!

金華山にかかる仲秋の名月をめぐる「まちなかお月見アート」を、9月20日から4日間にわたって開催しました。まちなかアート部会のメンバーが関や揖斐、高富などから調達したススキなどを、妙照寺と常在寺から大仏殿にかけての第1エリア、戦国の大道に面した屋根神様の四つ角を中心とした第2エリア、ふくろうの家(伊藤家)を中心とした第3エリア内のそれぞれにある家の軒先に飾っていただきました。部会員の予想を大きく上回る参加をいただき、皆さまのご協力に感謝申し上げます。



彫刻家・後藤譲氏の作品「月と兎と」20日から4日間、大仏殿の東軒下に展示され、夜は点灯された

また、大仏殿の東軒下では後藤譲さん作「月と兎と」のアート作品が展示され、大仏殿の花頭窓の明かりや通りを走る車のヘッドライトに兎の影が浮かび、ゆれるシンボル作品は好評で、ひとときの影絵を楽しみました。

最終日の23日にはスタンプラリーを開催し、ゴールのふくろうの家ではお月見の団子、お菓子とお抹茶のふるまいをし、お月見の気分を堪能しました。初日以外、なかなか顔を出してくださらなかった主役のお月様も、当夜は雲間から時折顔を覗かせてくれました。(小林教子)



ゴールの伊藤家にてお月見のふるまい



(撮影・矢島康治) 玄関先にススキのある風景

浅野邸は可愛い箱形の板張り外観。そこで愛称を「キュービックハウス」としました。今後いろいろな催しに登場予定です。12月5日(日)に行われた「我がまち探索」では、駐車場を集合場所に、応接室は休憩所に提供していただきました。当日は奥様のご厚意でお宅の中も見学をさせていただき、昭和レトロのモダンな美しい住まいに、参加者は感動ひとしおでした。1月14日~16日には「井の口の年賀状展」を開催します。



茶室へ続く中庭の踏み石には、創業者である祖父が白を試作するために日本各地から集めた石が入れている

下茶屋町の通りを歩くと興味をひく板張りの四角い建物があります。浅野鉄工所さんの旧本宅です。浅野鉄工所は製菓や製菓、飼料などの企業にふりかえり機を設計製作施工する会社で、先々代のおじいさまが創業です。この建物はかつては事務所兼本宅として使われていました。昭和初期の建造ということですが中に入ってビックリ。応接室の天井は高く、モダンな洋館の風情が至るところにあるかと思えば、中庭を抜けると茶室がしつらえてあり、当時としても粋な和洋折衷の造りです。ご主人のお母様がこの家をとっても愛し、建て替えないで残してと希望されて現在に至ります。嫁いで三十数年となる奥様も「亡き義母と同じ思いを感じるようになり、この家を残し、皆さまにも使っていただけば」と言われます。これからのまちづくり会活動等に利用させていただくことになりました。(馬場)

まちなかお月見アート発見 キュービックハウス

井の口まちづくり会・イベントのご案内(1月~3月開催)

イベント部会 井の口寄席

2月27日(日)/大仏殿の庫裏

第8回全国日本学生落語選手権「策伝大賞」の出演者による井の口の学生落語会です。昨年会場となった妙照寺本堂は改修中のため、今年は正法寺庫裏に移して開催します。

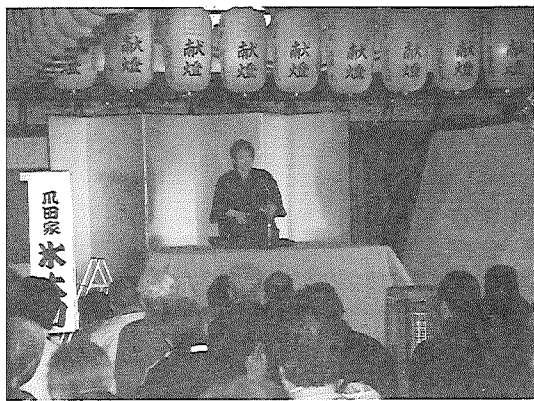
当夜は10名ほどの出演を予定しています。入場は午後5時30分からで、開演は6時です。

どなたでも多くの方の観覧をお待ちしています。小さいお子さんご同伴は遠慮ください。

■木戸銭として 一人300円です

※中入りには温かい豚汁のふるまいがあります

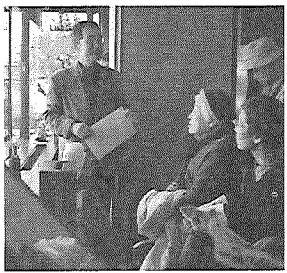
リーダー 杉山 秀子



昨年の井の口寄席の様子

第2回 まちの歴史探索部会 俳句こと始め

3月21日(祝)/句会は会員のみ30名



大野鶴士先生

井の口は松尾芭蕉が滞在した妙照寺をはじめ俳句にゆかりの深い地区です。

今回は杉山婦人会長のご厚意により杉山邸をお借りして、昨年に続き大野鶴士先生を招いて句会を催します。

申込時の会員 30名になり次第締め切ります。初心者と初参加の方歓迎です。

申込時の会員 受付が可で定員 30名になり次第 締め切ります。

お抹茶のひとときをご堪能ください。

日時 3月21日(祝) 10時~12時

※堀会長に申し込み 電話 269540

■さようなら杉山邸(自由参加・無料)

杉山邸は道路拡幅によりこのあと取り壊されます。最後にこの屋敷の見学会とお抹茶のひとときをご堪能ください。

日時 3月21日(祝) 13時~16時

※抹茶のふるまいとお屋敷の見学会です

同日開催・さようなら杉山邸「お茶と見学会の催し」

リーダー代行 河崎 良史

第2回俳句こと始め(会員限定企画)

場所は 杉山邸(萬松館北隣・大宮町2)

講師 大野鶴士先生

会費 300円(お抹茶付き)

日時 3月21日(祝) 10時~12時

※堀会長に申し込み 電話 269540

■さようなら杉山邸(自由参加・無料)

杉山邸は道路拡幅によりこのあと取り壊されます。最後にこの屋敷の見学会とお抹茶のひとときをご堪能ください。

日時 3月21日(祝) 13時~16時

※抹茶のふるまいとお屋敷の見学会です

まちなかアート部会 大仏様への年賀状

1月14日(金)~16日(日)光芳堂にて展示

同時開催・井の口の年賀状展(浅野邸・キュービックハウス)

リーダー 伊藤いづお

大仏様への年賀状展

まちなかアート部会の第2弾は「大仏様への年賀状」です。これは手づくり、手書きの年賀状、あるいはパソコン使用であってもオリジナルな年賀状であることを条件に、ぎふ大仏様宛に郵送または大仏殿受付の投函箱に1月10日までに投入していただき、届けられた年賀状を皆さまに見ていただくという企画です。

毎年描かれる年賀状の中の一枚を、日本三大仏の一つ、慈悲溢れる正法寺の大仏さまにも差し上げて、新しい年の幸せをお願いされてはいかがでしょうか。

同時開催・井の口の年賀状展

会員の皆さまのお手元に届いた手づくりの年賀状を1月10日までに、伊藤いづお、杉山範彦(光芳堂)、堀会長宅へお寄せください。プライバシーにかかわらないものを選んで年賀状展を開催します。

場所 キュービックハウス(下茶屋町)

会期 右記と同期間・同時間

※年賀状は宛名人に後日お返しします

場所 画廊・光芳堂(梶川町)

期間 1月14日(金)~16日(日)

時間 10時~17時(最終日16時)

井の口の年賀状展

会員の皆さまのお手元に届いた手づくりの年賀状を1月10日までに、伊藤いづお、杉山範彦(光芳堂)、堀会長宅へお寄せください。プライバシーにかかわらないものを選んで年賀状展を開催します。

場所 キュービックハウス(下茶屋町)

会期 右記と同期間・同時間

※年賀状は宛名人に後日お返しします

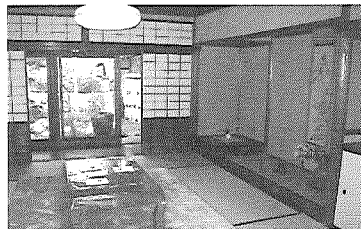
「我がまち探索」主旨と結果報告

まちなか風景検討部会

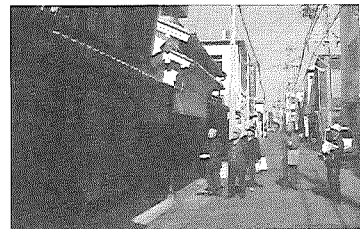
リーダー 小林 孝夫

12月5日(日)、風もないとても穏やかな天気にも恵まれて、井の口の町並み探索が行われました。日頃住み慣れたまちを見つめ直し、魅力的なスポットなど、新たな発見を試みる催しに32名の会員が参加しました。約2時間の探索でしたが、結果は今後の井の口まちづくり会活動に反映していきたいと思えます。

当日は下茶屋町の浅野鉄工所本宅と河村邸も見学させていただきました。外観だけでなく、歴史を醸し出す間取り、材質そして美しい庭に会員一同堪能するとともに、先人が築いた井の口の誇りも再確認することができました。ご好意を賜りました方々にお礼申し上げます。



河村邸の客間から見える庭



まちを探索する参加者

我がまちは魅力的な町家が点在するまち

下記の項目について地図にマークして歩きました。

- 探索項目(青鉛筆でマーク)
 - 後世に残すべき公共施設・環境 (○)
 - 魅力的な建物・しつらえ (●)
 - 魅力的な風景(町並み) (◇)
 - 優れた看板(サイン) (+)
 - 交通安全に配慮した場所 (□)
 - 近隣住民が使用できる消火器の位置 (※)
- 探索項目(赤鉛筆でマーク)
 - 改善が望ましい公共施設・環境 (◎)
 - 改善が望ましい建物・しつらえ (◎)
 - 必要となる看板(サイン) (-)
 - 交通上危険な場所 (□)
 - 違法駐車が多い場所 (×)
 - 災害の恐れがある場所 (※)
 - 夜間危険な場所 (▽)

その結果として、

- ・歴史を感じる魅力的な町家は、上茶屋町・下茶屋町・山口町・今町エリアに点在
- ・後世に残したい公園内の建物、萬松館の庭、寺院等
- ・御用水路、梶川堀も残すべき施設
- ・魅力的な風景は、全て金華山・岐阜城が望める場所
- ・堤防道路、旧電車で交通上の危険箇所を指摘

昨年発足した「まちの風景検討部会」も今年はいよいよ本格的な活動を始めています。この部会では井の口らしい景観を捉え、次世代へ美しい風景を継承していく提案を検討しています。「我がまち探索」もその一環の事業になります。

それと並行して、事務局の主なメンバーが所属する「金華まちづくり研究会」が井の口の建物調査を専門的に行っています。地区の全ての建物形態を拾い出し、この地域の現状景観をまとめる作業です。来年度まで作業は続く予定ですが、専門的な調査報告や風景継承のための指針を提案できればと考えています。

事務局だより

事務局長 河崎良史

新年明けましておめでとうございます。昨年までは年に2回ずつの発行でしたが、今期3回目の「通信」をお届けします。今年はそのほか部会員の皆さまへお伝えしなければならぬ事柄があるということでした。

特に今年発足した「まちなかアート部会」の活動が活発で、お月見アート企画は大変好評でした。遠くまでススキを取りに行った部会員にも頭が下がりますが、地区の方々が積極的に協力していただけた、町並みと風情を活かしたとても素敵なイベントになりました。地域の輪が広がるきっかけとなればと思います。

昨年発足した「まちの風景検討部会」も今年はいよいよ本格的な活動を始めています。この部会では井の口らしい景観を捉え、次世代へ美しい風景を継承していく提案を検討しています。「我がまち探索」もその一環の事業になります。

それと並行して、事務局の主なメンバーが所属する「金華まちづくり研究会」が井の口の建物調査を専門的に行っています。地区の全ての建物形態を拾い出し、この地域の現状景観をまとめる作業です。来年度まで作業は続く予定ですが、専門的な調査報告や風景継承のための指針を提案できればと考えています。

井の口まちづくり会 各部会員を募集

井の口まちづくり会では部会が中心となつていろいろな活動を行っています。下記の各部会メンバーと一緒に、まちづくり活動をしていただける会員をいつでも受け付けています。堀会長、河崎、部会リーダーに申し出をお願いします。

- イベント部会
 - 杉山 秀子 (◎) 河崎 良史 (○)
 - 高橋紀久子 高橋かずえ
 - 杉山鉦一郎 後藤 勝利
 - 篠田 壽夫 神山 明
 - まちの歴史探索部会
 - 河崎 良史(代行) 中村 末雄 (◎)
 - 森 勝彦 (○) 北川 英生
 - 杉山 周三 鷺見 善治
 - 鷺見 玲子 塚原 紀好
 - 森 喜彦
 - まちの風景検討部会
 - 小林 孝夫 (◎) 堀 智仙 (○)
 - 名和 利夫 松原 和生
 - 木野村英機 野々村聖子
 - 澤田 勝美
 - まちなかアート部会
 - 伊藤いづお (◎) 杉山 範彦 (○)
 - 鈴木美美子 武井 英男
 - 安藤 幸延 伊藤 克司
 - 矢島 康治 山吉 りか
 - 小林 教子 馬場わかよ
 - 広報通信作成部会
 - 事務局 (◎)
 - 会長 副会長 部会リーダー
- (◎はリーダー ○は副リーダー)